

第45回名古屋市老連通常総会

コロナ禍で異例の延期・規模縮小 日本特殊陶業市民会館で開催

令和2年9月3日、第45回名古屋市老連通常総会が市民会館で開催されました。

当初は、同年6月3日に大会と合わせて開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、多くの参加者には書面(委任状)による議決に代えさせていただき、延期しての開催となりました。

今回は、司会を市老連女性リーダー代表者の加藤弘子さ

んにお願いして、冒頭、物故者への黙とうが捧げられました。開催にあたり、三溝芳隆会長より挨拶がありました。その要旨を紹介します。



◆ 通常総会を平常に開催し、多くの会員の皆さんに参加いただき、市老連の方針や成果をご報告し、広くご意見をお聞きできなかったことは、誠に残念です。



◆ クラブは健康づくりや生きがいづくりの担い手である」ことを思い起こし、このコロナ禍を知恵と工夫で、乗り切っていた。きたいと存じます。

◆ 続いて三溝会長が議長となり議事がすすめられました。最初に定足数が充足し、総会が成立したことが報告されました。

◆ 守山区老連推薦の杉原武さんと市老連女性リーダー会推薦の西川里子さんが議事録署名名人に選任されました。

◆ 続いて、塚原義政常任理事より令和2年度事業計画、水谷弘常任理事より令和2年度収支予算の報告がありました。

◆ 承認案件について、令和元年度事業報告について天野直明常任理事より、令和元年度決算について加納年子副会長より、説明がありました。引き続き、令和元年度の事務・事業について熊澤克則監事より監査報告がありました。

◆ 最後に、昭和区老連の伊藤彰会長と守山区老連の浅井保司会長が新たに市老連理事に選任されました。

◆ いずれの案件も異議なく承認され、議長より円滑に議事運営がすすめられたことに感謝の弁があり、通常総会は無事終了しました。



◆ 日ごろからクラブ活動に尽力されている会員の皆さまにこの場をお借りして御礼申し上げます。とりわけ今年にはコロナ禍による活動の中止や延期、変更にご苦労は大変かと存じます。

◆ 一方で、日常行動やクラブ活動の自粛により、会員皆さんの体力や認知力が低下するのではないかと心配されています。テレビや新聞でもこのことが問題になっています。

◆ 今一度「老人

全国一斉社会奉仕の日

コロナ禍に負けず美化活動を市内各所で展開

全国の老人クラブは、昭和31年より老人週間を中心に、地域社会に対する感謝と高齢者の社会参加への意欲を示そうと、全国一斉「社会奉仕の日」の活動に取り組んでいます。

今年度も、名古屋市老連は、市内各所で「花のあるまち、ゴミのないまち」をめざして、美化活動や環境活動に取り組みました。

- ◆参加クラブ 872クラブ
- ◆参加会員 10,353人
- ◆ごみの総量 7,386袋(1袋=45ℓ)
- ◆清掃箇所 1,562カ所

